2007 11 Vol.20

広報 さかい

CONTENTS

「分けて」「すすいで」
リサイクル …………………… 2

「分けて」「すすいで」リサイクル

ちゃんとできていますか　プラ分別

プラごみ（プラスチック容器包装ごみ）分別収集が市内全域でスタートして、半年あまりが過ぎました。

普段の生活の中で「これって、プラごみでいいのかな」「プラマーク標示はあるけど、このまま捨てればいいのかな」など、ちょっとした疑問にぶつかったことはありませんか。

きちんと分別して、効率よくリサイクルするためには、正しく知ることが大切です。今回は、あらためてプラごみ分別についてみてみましょう。

毎日ロールパン1個分

今年4月から市内全域でスタートしたプラごみ分別収集。

すでに取り組んでいた丸岡町でのリサイクル実績は、昨年度1年間でおよそ153トンでした。

ところが、全域で取り組むようになって半年あまりの間に、実に202トンものプラごみをリサイクルすることができました。

これは、一世帯あたりに換算すると、皆さんの家庭で出るごみのうち、毎日およそ40グラム、ロールパン1個分ずつをプラごみとして分別し続けていることになります。

毎日たった40グラム、されど40グラム。

皆さんの協力のおかげで、ごみの量にも少しずつ変化が現れています。

かもめのつぶやき

半年の間に202トンのプラごみがリサイクルされました。当然同じ量だけ、もやせるごみの量が減るはずですよね。

区域名	プラごみ	H19もやせるごみ（4～9月分）	H18もやせるごみ（4～9月分）	H19-H18	前年比
三国	50t	3,084t	3,322t	-238t	93%
丸岡	74t	3,542t	3,565t	-23t	99%
春江	49t	2,614t	2,767t	-153t	94%
坂井	29t	1,205t	1,254t	-49t	96%
合計	202t	10,445t	10,908t	-463t	96%

ところが右表を見ると、驚くことに、**もやせるごみはそれ以上の、463トンものの量が減っているんです。**

これは、すごいですよね！

皆さんのごみ分別に対する意識が、明らかに変化してきた証拠。ごみは**「分ける」以前に「出さない」という意識が芽生えているのではないでしょうか。**

拍手、拍手！

再び脚光を浴びる　そのときまで

皆さんの家庭から出されたプラごみは、ごみ収集車が回収して、市が処理を委託している福井環境事業（株）二日市リサイクルセンターに運ばれます。

▲一時ストックされます

▲プラごみではないものを手で取り除きます

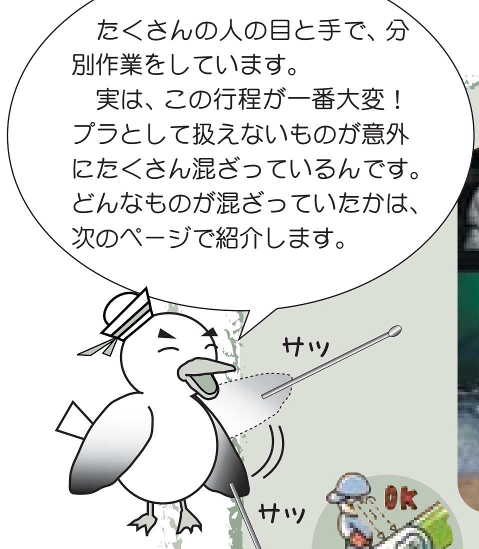
▲不適合なものを、さらに細かく取り除きます

▲粉砕機に入れて細かく砕きます

▲流水でキレイに洗って…

▲さらに熱を加えて溶かし、ペレットというプラスチック製品の原料となるものに加工します

▲製造工場に運ばれて、ボードやプランターなどのプラスチック製品にリサイクルされています



迷子になったごみたち

皆さんは、きちんとプラごみ分別できていますか？

前ページで紹介したように、リサイクルセンターでは人の目と手で分別作業をしています。

実は、収集したプラごみの中に、こんなものが入っていました。

アルミが分離するためリサイクルできないもの

▲プラマーク標示があっても内側がアルミコーティングされたもの

プラマークはあっても、汚れがひどくリサイクルできないもの

中身が入ったままのプラ製弁当箱▶

これらは、プラごみとして収集・リサイクルできないものばかりです。

次のページでもう一度、プラごみの出し方のポイントをおさらいしましょう。

かもめのつぶやき

家庭からよく出るごみに、スプレー缶やライターがあります。

実は、危うく大事故になりそうだったことがありました。

回収したもやせないごみの中に、十分にガスを抜いていないスプレー缶が混ざっていたんです。爆発すると、ごみの回収や処理ができなくなるところでした。ふぅ、危ない、危ない…。

皆さん、スプレー缶やライターを出すときは、中のガスを完全に抜く作業を、忘れずにお願いします。

また、資源ビンとして収集したものの中に、不適切なもの（キャップ・陶磁器類・乾電池・石など）が混ざっていることがあります。せっかく分別してもリサイクルできなくなってしまうので、今一度、分別ルールの確認をお願いします。

プラごみ分別 もう1回チェック！

START

CHECK① プラマークがありますか？

- いいえ → もやせるごみなど
- はい → CHECK② 内側がアルミコーティングされていないものですか？
  - いいえ → もやせるごみ
  - はい → CHECK③ 汚れていませんか？
    - はい → プラごみ
    - いいえ → すすいだら汚れが落ちましたか？
      - はい → プラごみ
      - いいえ → もやせるごみ

プラごみの出し方Q&A

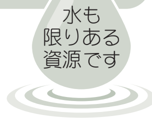
Q スナック菓子の袋はプラごみでOK？

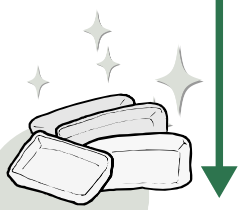
A 内側がアルミコーティングされていないものは「プラごみ」でOKですが、内側がアルミコーティングされているものは、市が委託しているリサイクルセンターでは処理が困難なので、今までどおり「もやせるごみ」で出してください。

プラごみの出し方Q&A

Q どれくらい洗わないといけないの？

A すすぐ程度でOKです。中身が残っているものや、汚れたままのプラごみはリサイクルできません。すすぐ程度できれいにならないプラごみは、「もやせるごみ」で出してください。





プラごみの出し方Q&A

Q ボトルやパックに張ってあるシールは、はがさないとだめ？

A はがさずに、そのまま「プラごみ」で出してください。

Q プラごみを出すとき、ボトル類やトレイ類、袋類などに分けないとだめ？

A 分けずに、まとめてプラごみ指定袋に入れて出してください。

ただのごみにしてしまうのか、資源として再利用するのかー。

これから年末年始にかけて、どこの家庭もごみの出る量が増えます。

ごみはできるだけ出さない、出したらきちんと分別するー

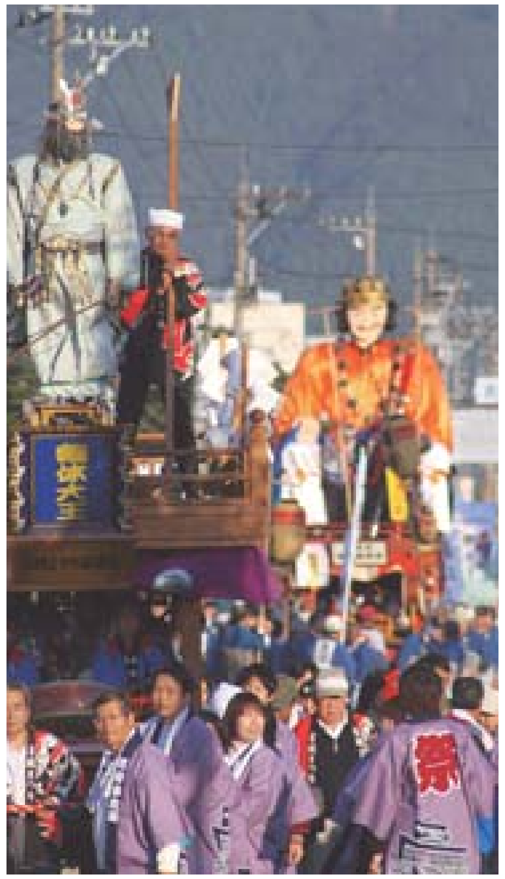
私たちのちょっとした心掛けが、積もり積もって環境保護につながっていくのです。

環境への優しさを、家庭から。

”ロールパン”が1個から2個、2個から3個に増えていくといいですね。

プラごみ分別とリサイクルにご協力をお願いします。

坂中井フィナーレ
ー越の国まん中物語ー


▲丸岡のからくり山車、三国の三国祭山車、春江のちょうちん山車、坂井のかがし山車が一堂に

▲市民が出演し、熱演を披露した市民野外劇

継体大王即位1500年記念事業「坂中井ー越の国まん中物語ー」の最終章「豊穣祭」を10月21日(日)、坂井グラウンドをメーン会場に開催。勾玉づくりや火おこしなどが体験できるコーナー、市民パレードや市民野外劇などを行い、大勢の人でにぎわいました。

市民パレードには、4自治区の祭りのシンボル「山車」が初めて一堂にそろい、約200人が引き手として参加。最後尾には、タレントの藤崎奈々子さんが振媛に扮して参加し、華を添えました。

市民野外劇には、市内の6つの劇団や合唱団などから約100人が出演。「水がつむいだ記」と題して上演し、継体大王の幼少から即位まで、そして大王の歩みとともに発展した本市の歴史を紹介しました。

4月に開幕した「物語」。本市の礎を築いた継体大王の歴史、またこの土地に育った文化・産業などを市内外に情報発信。市民の地域への誇り・自信を高め、全国に市の魅力をアピールし、その幕を下ろしました。

▲振媛に扮した藤崎奈々子さん

▲火おこし体験を楽しむ子供たち

「スポーツ」と「健康」フェスタを同時開催
約1500人が体力・健康づくり

体育の日の10月8日(月)、「坂井市民スポーツフェスタ」と「さかい健康フェスタ」を開催し、体力・健康づくりに励む市民らでにぎわいました。

スポーツフェスタは、三国運動公園と三国体育館を会場に実施。気軽にスポーツに触れながら心と体をリフレッシュしてもらおうと、ニュースポーツ体験や、弓道やエスキーテニスの体験、体力測定などを行いました。

▲ニュースポーツだけでなく、伝統的なスポーツも体験

▲市体育指導委員の指導を受けながらファミリーバドミントンを楽しむ参加者

さかい健康フェスタは、三国運動公園を会場に実施。「見て、体験して、実感しよう! 健康の大切さ」をテーマに、血液さらさら測定や体脂肪測定、親子フィットネス教室やドレッシング作り体験など、さまざまなコーナーを設置しました。

三国町を舞台に同時開催されたスポーツと健康の祭典。参加者たちは家族や友人たちと一緒に、スポーツで汗を流したり、自身の健康状態をチェックしたりして楽しく一日を過ごし、自分の体を見直すきっかけにしていました。

▲足裏バランス測定で、重心の位置などを確認

▲親子でフィットネス。元気に体を動かす子供たち

第39回丸岡古城まつり
にぎわう城下町 約1万5000人が集う

丸岡古城まつりを10月14日(日)、丸岡城を中心に行いました。今年は市誕生1周年を記念し、五万石パレードを規模拡大。また継体大王即位1500年ということで、継体大王のからくり人形山車が丸岡町内を巡行など、記念の年にふさわしい祭りが繰り広げられました。

五万石パレードには、武者行列や子供大名行列など約600人が参加。その中でも人の目を引いたのは、5歳園児による大名行列。折り紙で作ったかぶとをかぶった子供たちが城下町を練り歩き、沿道には勇ましい姿を一目見ようと大勢の人が詰め掛けました。

総踊りには約3000人が参加。「丸岡音頭新バージョン」や姉妹都市・延岡市の「ばんば踊り」などの調子に合わせ行われ、会場の本町・谷町通りには元気な掛け声が響き渡っていました。

祭りには約1万5000人が訪れ、終日にぎわっていました。

▲武者行列で使用された甲冑のうち2体は、丸岡町特産の細巾織物や広巾織物などを使った特製品。丸岡商工会と丸岡繊維産業振興会、丸岡呉服組合が共同で製作したもの。繊維の町・丸岡を大いにアピール（写真左から杉本隆晴・延岡市副市長、坂本市長）

▲5歳園児大名行列

▲約3000人による踊りの輪

学校給食と通学支援

両検討委員会が市教育委員会に答申

市内小中学校の学校給食のあり方と通学支援を見直すため、昨年10月から協議を重ねてきた学校給食問題検討委員会（前田武雄委員長）と通学支援問題検討委員会（陶山治男委員長）が10月4日（木）、小嶌義昭市教育委員長に報告書をそれぞれ手渡しました。

学校給食問題検討委員会では、調理した食材を冷蔵保管し、再加熱して提供するクックチル方式を採用している丸岡南中学校などを参考に協議しました。

報告書は、今後予定している小学校の耐震補強改修や中学校の改築に合わせ、将来的には、市内すべての小中学校に民間委託でクックチル方式を導入していくことが望ましいとした内容になっています。

委員からは「食育や食の安全安心、栄養管理などに対応できる組織づくりを行うべき」などの意見が出されていました。

通学支援問題検討委員会では、旧4町間で支援内容や保護者負担に大きな格差のある従来の方法を変更し、新しく統一した基準による支援が必要と判断しました。

市全域にわたる公平・平等な支援と、より安全・安心が確保される支援体系として、小学校低学年は学校から約1.5キロ・高学年は約2キロ以上、中学校は約4キロ以上、冬期間は約3キロ以上の地区を対象とすることを提案。保護者負担の料金は小学生が月額2,000円・中学生が3,000円の定額制を求め、民間委託バスでの運行が望ましいとしています。「通学支援は登下校の安全安心が基本。地域の見守り活動も重要だが、通学路の整備、歩道や街灯の設置、除雪対策なども一層の整備を願いたい」との意見もつけられています。

● ● ●

報告書を受け、小嶌教育委員長は「答申の趣旨を尊重し、市に提言していきたい。今後、保護者や地域を対象に説明会を行っていくが、スムーズな実施のためにも、市民の皆さんに、ぜひご理解をいただきたい」と話していました。

小嶌教育委員長に報告書を手渡す陶山委員長（中）と前田委員長

From 市長

市独自の観光振興を目指してセミナーを開催

市長定例記者会見が10月9日（火）に市多目的研修集会施設で行われ、坂本市長は次のように述べました。

市は、訪れる人が楽しみ、癒され、何度も訪れたくなるような観光地づくりを進めています。

そこで、従来のイメージにとらわれず、市民と協働の観光事業のあり方や地域資源の活用法を考える市民参加型『観光ビジョン戦略セミナー』を開催します。

これは、市民一人一人の声をこれからの観光ビジョンに反映させ、市独自の観光振興を図るためのもので、3回にわたって開催します。

セミナーでは、実際に観光戦略を実践している人を講師に迎えます。「観光に携わる人だけではなく、一般市民や商業・農林水産業従事者、企業などあらゆる人たちに呼び掛け、農業・環境などの分野をどう観光に結びつけるのか」「身近なものに光を当て、それがどのように観光事業に発展していったか」などの事例について伺います。また、グループミーティングを通して、ネットワークづくりや地域資源の活用などを学んでいきます。

一人でも多くの市民に参加していただき、本市ならではの観光地づくりに、ぜひご協力をお願いしたいと思っています。

Ｆｒｏｍ市長では、市長から市民の皆さんへ市政についてのメッセージをご紹介します。また、10月9日（火）に行われた定例記者会見の模様は市のホームページからご覧いただけます。

青少年健全育成の意識を高めよう
～市民大会を開催～

▲子ども会壁新聞コンクールの表彰式

平成19年度青少年健全育成坂井市民大会が10月28日（日）、ハートピア春江で開かれました。約200人が参加。子ども会壁新聞コンクールなどの表彰のほか、渡辺美那帆さん（春江中3年）による「新啓発録」の発表などが行われました。

大会で表彰されたのは次の皆さんです。

（上位のみ・敬称略）

【青少年育成坂井市民会議会長賞】

■育成団体の部

駅前子ども会（坂）、大石子ども会育成会（春）、河和田子ども会（坂）、五本子ども会（坂）

■育成指導者の部

谷口一夫（丸）、西端利勝（春）、前川俊弘（春）、松原富夫（三）、水上昇（坂）、南出洋邦（丸）、盛屋勝志（丸）、渡邊眞吾（春）

【第2回坂井市子ども会壁新聞コンクール】

■入選

木部新保子ども会（坂）、折戸子ども会（坂）、大畑子ども会（坂）、殿島子ども会（三）、板倉子ども会（丸）、加戸東子ども会（三）、黒目子ども会（三）、新鳴鹿一丁目子ども会（丸）、温泉区子ども会（三）、玉井子ども会（三）

【第31回福井県子ども会壁新聞コンクール】

■特別賞（福井新聞社長賞）

木部新保子ども会（坂）

■最優秀賞

板倉子ども会（丸）

■優秀賞

殿島子ども会（三）、温泉区子ども会（三）、玉井子ども会（春）、千歩寺子ども会（三）、台金井請地子ども会（三）、子ども会（三）

み〜んなハナマル

県選挙啓発ポスター 谷口さん（長畝小4年）が金賞に

金賞に輝いた谷口さんの作品

県明るい選挙啓発ポスターコンクールの審査会が10月1日（月）に県庁で行われ、長畝小4年の谷口茉梨乃さんが金賞に選ばれました。

コンクールは、県内の小中高生を対象に行われ、応募総数は1332点。市町選挙管理委員会の一次審査を通過した中から入賞作品70点が選ばれ、谷口さんの作品が最高賞に輝きました。

あったか〜いこころ

シプロ化成から寄付

寄付金を手渡す白石社長

シプロ化成株式会社（本社・三国町米納津）から10月15日（月）、教育の振興と教育環境の充実を図ってほしいと150万円寄付していただきました。

同日、白石泰章代表取締役社長ら3人が市役所を訪れ「市内の5中学校に対して30万円ずつ寄付いたします」と坂井市長に寄付金を手渡しました。

同社からの寄付は今年で2年目。今後も毎年継続して行われる予定です。

"H氏賞のあゆみ"を平澤氏から寄贈

冊子の説明をする平澤氏（右）

"詩の芥川賞"といわれる「H氏賞」の歴史や受賞作品をまとめた冊子「H氏賞57年のあゆみ」100冊を、10月23日（火）に東京在住の平澤照雄さんからいただきました。

平澤さんは、本市出身で同賞創設者の故・平澤貞二郎氏の次男。同日、市役所を訪れ小林副市長と懇談し「ふるさとを出た人の活躍振りが伝われば。この冊子をきっかけに、後に続く人の登場を期待したい」と話していました。

宝くじ助成を活用してコミュニティーを活性化

◆江留上本町自治会は子供みこし

江留上本町自治会が、子供みこしを購入しました。

購入した子供みこし

歴史文化の継承と地域の活性化などが期待されます。

◆為国自治会は太鼓一式

為国自治会が、子供太鼓一式を購入しました。

購入した太鼓

地域の活性化と由緒ある「為国太鼓」が引き継がれることなどが期待されます。

まちかど i アイ

10.1

市男女共同参画審議会が発足

市男女共同参画審議会委員の委嘱式を市役所で行い、学識経験者や一般公募して選んだ市民ら委員10人に委嘱状を手渡しました。同審議会は、市男女共同参画推進条例に基づき設置。男女共同参画の推進に関する重要事項についての審議などを行う諮問機関です。

市では、男女共同参画社会の実現を目指した施策を、総合的かつ計画的に進めるための基本的指針などを示した「市男女共同参画推進計画」の策定に着手。その骨子案について同審議会に意見を求め、本年度内に推進計画を完成させることとしています。

市商工会がスタート

三国・春江・坂井の商工会が合併し、坂井市商工会が発足。会員数1406人を持つ、県内最大の組織力を誇る商工会が誕生しました。

開所式が市商工会館で行われ、関係者ら約50人が出席。式で、川上正男・県商工会連合会長から黒川秀雄・市商工会長に商工会旗が手渡されました。

黒川会長はあいさつで「地域の経済団体として使命を果たしていきたい」と決意を述べていました。

10.1

10.3

全6年生が集い　スポーツで交流

市初の小学校連合運動会が、三国運動公園陸上競技場で開かれました。市内全ての小学校6年生1032人が参加。秋晴れの下、さわやかな汗を流しました。

運動会では、100㍍走や走り幅跳びなどの選手種目のほか、全員が競技に参加できるようチャレンジ種目を設定。また、団体種目として、学校対抗長縄跳びも行われました。

参加した子供たちは「いろんな学校の子と会えて嬉しい」と話すなど、競技を楽しみながら学校の枠を超えた交流の輪を広げていました。

目指そう！暴力のない安全で安心なまち

暴力追放坂井市民会議の設立総会が市多目的研修集会施設で行われました。

同市民会議は「いりません、私たちのまちに暴力団」を合言葉に、暴力団を追放しようと組織。趣旨に賛同した市内の各種団体や行政機関など47団体で構成されています。

総会で、参加者全員が「『暴力団を恐れない、金を出さない、利用しない』を市民総ぐるみで実践していこう」などと設立宣言文を読み上げ、暴力のない安全で安心な住みよいまちを実現しようと誓いました。

10.3

10.6

10.13

長寿を祝い、敬老会を開催

長寿を祝う敬老会を坂井町と三国町で行いました。75歳以上のお年寄りが集い、楽しいひとときを過ごしました。

坂井町は坂井体育館で開催し、約650人が参加。式典で、坂井地区老人クラブ連合会長の一柳敏夫さんが「微力ながらも社会に貢献していきたい」と謝辞を述べました。

三国町では三国体育館で開催し、約1100人が出席。三国西小学校3年の坂本大智さんが、敬老作文を朗読。ラッキョウ作りに励むおばあちゃんをねぎらう思いやりあふれる作文を披露しました。

市の花を育てよう　ユリの学習会を開催

市の花「ユリ」を知ってもらい、栽培を通して思いやりの気持ちをはぐくんでもらおうと、ゆりの里公園の職員が小学校に出向いて行う「ユリの学習会」を開始。初日は雄島小学校で行い、３年生56人が受講しました。

児童たちは、花の形や育て方など豆知識を学んだ後、球根植えに挑戦。深さ25㌢ほどの鉢の底に水はけのいい赤玉土などを敷き、球根をそっと置いた後、培養土を掛けました。「ユリの球根は初めて見た」「冬でも水をやるんですか」などロ々に話し、開花を心待ちにしているようでした。

10.11

10.29

市内をサクラで満開に　学校で市の木を植樹

市の木「サクラ」に親しんでもらおうと、市は市内の小・中学校と各総合支所にヒガンザクラの苗木を配付しました。ヒガンザクラは、市が誕生した3月20日の誕生樹です。

トップを切って植樹が行われた鳴鹿小学校では、全校児童140人が参加。高さ250㌢の苗木の根元に、低学年から順にシャベルで一杯ずつ土をかけていきました。「早く大きくなるといいな」と児童たち。来年の春の彼岸ごろに、淡いピンクの花が見られるとのことです。

公共事業の暴力団排除に向け　始動

市が行う事業などに暴力団が関与できない体制を確立しようと、市は坂井警察署と坂井西警察署との間でそれぞれ合意書を交わし、調印を行いました。

合意書は、公共工事の請負先を決める競争入札や、公的施設を運営する指定管理者を指定していく過程で、各担当課と警察署とが連絡・協力を図りながら、その対象から暴力団を徹底排除する内容になっています。

調印式には坂本市長、飯田英雄坂井警察署長と大橋紀坂井西警察署長が出席。固く握手を交わし、連携を誓い合いました。

10.31

まちの話題が満載の「まちかどｉ」は、市のホームページ（http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/）からもご覧いただけます。ホームページでは“ホット”な話題を随時公開。また、上記以外の話題も紹介しています。

ふれんず ⑲

「ふれんず」は坂井チャンネル29でもご覧いただけます！
「ふれんず」は、坂井チャンネル29でも「ふれんずTV」として紹介します。今回の内容は、11／15（木）～12／14（金）まで放送します。お楽しみに！

問合先　秘書広報課☎50-3012

全員の心を一つに　目指せ　全国制覇！

▲薄明かりの下、懸命にボールを追うメンバー

風が澄み、寒気を増した夜暗の中、白い息を弾ませながらサッカーボールを追いかける。砂煙を上げながらボールをさばくその足は、どんなに競り続けても、全く疲れを知らない。輝く汗と瞳、そして笑顔が似合う、元気いっぱいの少女たち、それが「RUCKガールズ」だ。

同チームは、10月に開催された北信越ガールズエイト大会で優勝し、日本サッカー協会賞を受賞するなど、国内でもトップクラスの実力を誇る小学生女子サッカーチーム。現在、幼稚園児から6年生まで41人が所属。普段は、ドリブルやパスなどの基本動作を中心に練習を行っている。

今年の活躍を、主将の北川結菜さん（高椋小6年）は「夏に静岡であった全国大会は、私のミスで決勝進出を逃した。悔しかったけど、チームがグッドマナー賞をもらって最高の喜びに変わった」と振り返る。その言葉どおり、勝ち負け以上に、あいさつや後輩の面倒見などをきちんとするのがチームのモットーだということが伝わってきた。

指導にあたる川村充美さん（福井市）は、丸岡高校時代に上部チーム「RUCKレディース」の初代主将として活躍。「失敗しても奮起する強い気持ちが大切。仲間を信じ、チームでプレーする楽しさを伝えたい」と意気込む。

守りの要、石田恵さん（長畝小6年）は「国内外の選手と友達になれるのが楽しい」と、サッカーの魅力を話す。

6月のキャノンカップでの活躍が認められ、アメリカ遠征を果たした牧彩乃さん（長畝小6年）は「遠征中に教わったジャンピングヘッドを試合で生かして、全国大会で優勝したい」と目を輝かせる。

「日本を代表する選手に―」。心を一つに、ひたむきに練習に励む、明るくさわやかな"なでしこ"たちだ。

RUCKガールズ

メンバー　41人　　代　表　田中悦博さん

コメント　「RUCKは〝ガラクタの集まり〟という意味。みんなが心を一つにして頑張れば、大きなことができると信じています。週3日、午後7時30分から高椋小グラウンドなどで練習中。応援をよろしくお願いします」

「みんなの掲示板」掲載希望者を募集中！
締め切りは、掲載希望月の前月5日まで。希望者多数の場合は、掲載できない場合もあります。詳しくは秘書広報課まで。問合先　秘書広報課☎50-3012

みんなの掲示板

三国シンフォニックウインズ メンバーを募集

三国町を拠点に活動している管楽アンサンブルです。

現在、私たちと共に演奏してくれる仲間を募集しています。

管楽器、打楽器の経験者から純粋に音楽に興味のある人、楽しく合奏したいという人は、ぜひ一度、お問い合わせください。

問合先　三国シンフォニックウインズ　山内☎82-2665
✉mikuni-sw@po5.nsk.ne.jp
💻http://www5.nsk.ne.jp/~mikuni-sw/

坂井市日中友好協会 中国語坂井教室　11月から開講しました

受講生を募集中！

中国語で簡単な日常会話を楽しみたい、ちょっとした一言を話してみたい人はいませんか。初めての人や経験のある人、どなたでも受講できます。まずは見学と体験学習からスタートしてみませんか。

とき　毎週火曜日19:30～21:00
ところ　東十郷公民館（予定）
受講料　3,000円/月
講師　施　凱盛氏、高木理帆氏
申込先　西林　☎📠51-0925

また、春江教室も毎週木曜日19:30から21:00まで開いています。ご参加お待ちしています。

問合先　平瀬　☎📠51-1337

NPO法人いきいきITクラブ「パソコン入門講座」

初心者コースです。パソコンの基礎知識、ワード（文書作成）、エクセル（表計算）、インターネット、メール、年賀状、デジカメなど、幅広く学習できます。

とき　毎週月・水・金曜日　13:00～16:00
ところ　高椋公民館
講師　NPO法人いきいきITクラブ会員　嶋崎忠良氏　ほか
定員　15人
参加費　1カ月3,000円（原則として3カ月前納）、資料代1,000円
申込　毎月月末までに、電話かFAXで申し込み
申込・問合先　NPO法人いきいきITクラブ　道見　☎66-0876 📠67-8385

坂井地区合唱祭 ―歌声 ふるさとの空に―

本市とあわら市の合唱団やコーラスグループなど19団体が出演します。

入場無料。ぜひお越しください。

とき　11月25日（日）　12:30開場、13:00開演
ところ　三国社会福祉センター
問合先　東十郷公民館内　笠原☎66-4567

シングセラピー参加者を募集

春江大好きプロジェクトでは、シングセラピーをワークショップ形式で開催しています。

11月・12月の講座は次のとおり。1講座のみの申し込み可。一度、参加してみませんか。

【第6回ワークショップ マイCMソング作り】

自分のCMソングを作りましょう。

とき　11月30日（金）　19:00～
ところ　春江中公民館
講師　松村かなこ氏、松村忠尚氏（おんまえプロジェクト）
参加費　500円

【第7回ワークショップ アメリカン＆ブリティッシュポップス＆クリスマスパーティ】

英語の歌を格好良く歌いましょう。

とき　12月8日（土）18:00～
ところ　春江中公民館
講師　八木秀樹氏、宇津野祥之氏
参加費　ワークショップ500円　パーティ1000円
申込・問合先　春江大好きプロジェクト　木川　☎090-4323-3714

11月のハッピーバースデー

今月のハッピーバースデー 掲載希望者を募集中

掲載月に誕生日を迎える3歳までの元気な子を募集しています。

写真とコメント（30字程度）に、住所、氏名、生年月日、両親の名前、連絡先を添え、下記まで。電子メール可。

問合先　秘書広報課 ☎50-3012
✉kouhou@city.fukui-sakai.lg.jp
〒919-0592　坂井町下新庄1-1

石田　彩峰ちゃん（2歳・丸岡町舟寄新）
父：貴司さん　母：和子さん

北村　茉夕ちゃん（1歳・三国町宿）
父：辰一さん　母：夕子さん

お知らせ

11月21日(水)基準日

全国物価統計調査を行います

調査をお願いする事業所には、11月上旬にお願いの通知をし、その後調査員が調査票の記入のお願いに伺います。

その際には、調査の趣旨をご理解していただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

調査員は、必ず調査員証を携帯しています。

調査対象　小売店舗、飲食店、サービス業を営む事業所

＜全国物価統計調査とは？＞

国民の消費生活で重要な支出の対象となる商品の販売価格やサービスの料金、これらを取り扱う店舗の業態や経営形態など価格決定に関するさまざまな要素を幅広く調査します。

物価の店舗間格差、銘柄間格差、地域間格差など価格差の実態を解明し、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的としています。

問合先　情報政策課☎50-3014

社会保険料(国民年金保険料)控除証明書のお知らせ

国民年金保険料は、年末調整などの税務申告の際に、その全額が社会保険料控除の対象になります。

●社会保険料控除を受けるには

国民年金保険料を納付した人が、社会保険料控除を受けるためには、国民年金保険料を納付したことを証明する『社会保険料(国民年金保険料)控除証明書』または領収書の添付が義務付けられています。

●控除証明書は11月上旬送付

社会保険庁では、平成19年度中(平成19年1月1日～10月1日)に納付していただいた国民年金保険料の金額を証明する控除証明書について、11月上旬に送付しますので、年末調整または確定申告の際に、必ず添付してください。

また平成19年10月2日以降、平成19年中に納付された保険料にかかる控除証明書は来年2月に送付しますが、今年の年末調整時には領収証書の添付をお願いします。

【社会保険料控除証明書に関する専門ダイヤルを開設】

社会保険庁では、『社会保険料(国民年金保険料)控除証明書』にかかる問い合わせ窓口として、専用ダイヤルを設置します。

専用ダイヤル☎0570-00-9911

設置期間　平成20年3月14日(金)まで　平日9:00～17:00

問合先　福井社会保険事務所　☎23-4516

11月は過重労働・賃金不払残業解消キャンペーン月間　無料相談ダイヤルを開設

福井労働局では、過重労働による健康障害防止と賃金不払残業の解消について、電話による相談に応じます。

電話番号　0120-897-283

と　き　11月23日(金・祝)　9:00～17:00

問合先　福井労働局労働基準部監督課☎22-2652

「ふくい女性活躍支援センター」オープン

キャリア相談や講座の開催、働く女性のネットワークづくりを通して、社会で活躍する女性のキャリアアップを支援するセンターが開設されました。

ところ　ユー・アイふくい(生活学習館)2階(福井市下六条町14-1)

開所時間　9:00～20:00

休館日　毎週月曜日、第3日曜日、国民の祝日の翌日、年末年始

相談時間　火～木曜日、土曜日 10:00～17:00　金曜日13:00～20:00

問合先　ふくい女性活躍支援センター　☎41-4200(代表)　☎41-4244(相談専用)

http://www.manabi.pref.fukui.jp/you-i/

三国競艇場からお知らせ　地元選手がデビュー！応援をお願いします

土山卓也(つちやまたくや)選手(三国町)

お客さんを呼べる魅力のある選手になりたい。デビュー戦は思いっきりいって、1着を目指したい。

デビュー　三国競艇しもつき第2戦(11月8日～11日)

藤堂里香(とうどうりか)選手(大野市)

一つでも多くのことを見て吸収し、女子王座に出たい。デビュー戦は、無事故完走で冷静に走りたい。

デビュー　三国競艇しもつき第3戦(11月16日～19日)

問合先　三国競艇場☎77-3131

油流出による水質事故をなくしましょう

最近、河川への油の流出事故が多く発生しています。川の水が汚染されると魚をはじめとする水生生物に影響があるほか、農業や工場、水道などの川の水を利用しているたくさんの人々に迷惑が掛かります。水質事故防止のため次のことに注意してください。

- ○油を側溝、水路、河川に捨てないでください
- ○燃料機器への給油中は、その場を離れないでください
- ○万一油が側溝や水路に流れた場合、早期対応が重要です。関係機関にご連絡ください

※油が流出した場合、オイル吸着マットの敷設などに多額の費用が掛かり、その費用は油を流した人の負担となります

連絡先　環境衛生課☎50-3032　または各総合支所市民課　三国☎82-8902　丸岡☎68-0804　春江☎51-9403　坂井☎50-3062　三国土木事務所☎82-1111　福井河川国道事務所☎35-2661　坂井健康福祉センター☎73-0601　またはお近くの消防署、警察署まで

リサイクル

申込・問合先　市民生活課☎50-3030

＊無償の品物のみ取り扱い　＊掲載期間は6カ月

ゆずります

電気マッサージ機、子供みこし(昭和30年代製造)、ソファー(一人用)2個、座卓(縦180×横100×高さ50)、折りたたみベッド、折りたたみベッド(電動)、収納ボックス(キャスター付)2個

ゆずってください

社交ダンス用衣装・シューズ、アイロン、二人用ベビーカー、テレビ、炊飯器、チャイルドシート、乳児用シャワーチェアー、子供用自転車、屋外用すべり台

使用期間の長い家電製品をお使いの皆さんへ

使用期間の長い家電製品による火災事故が発生しています。

長期間お使いの家電製品を使用するときは、必ず点検してください。

問合先　市民生活課☎50-3030

イベント情報

◇ユリーム直売市感謝祭

日ごろの感謝を込めて、ユリーム直売市では感謝祭を行います。

◀昨年の様子

と　き　12月22日(土)　23日(日)　9:00～16:00

ところ　ユリーム春江

問合先　ユリーム春江　☎58-0100

食卓にもう1品！ 食生活改善推進員の かんたん料理レシピ

坂井地区推進員

さつまいも茶巾の生姜あんかけ

〈栄養成分／1人分〉

エネルギー　138ｋcal
たんぱく質　3.3g
脂質　1.3g
塩分　0.7g

〈材料／4人分〉

	サツマイモ	300g
	冷凍枝豆	80g
	生姜汁	10g
A	薄口醤油	大さじ1
A	みりん	大さじ1
A	塩	少々
A	だし汁	1カップ
B	片栗粉	小さじ2
B	水	大さじ1と1/2

作り方

① 冷凍枝豆は沸騰した湯の中でゆでて、ざるにあげて冷まし、さやから出す。
② サツマイモは皮をむき、一口大に切り、ゆでる。
③ ②を軽く木べらでつぶし、①の枝豆を入れ、4等分にしてラップに包み、茶巾に絞る。
④ 小鍋にAを入れて煮立て、生姜汁を加える。再び沸騰したら、Bの水溶き片栗粉でとろみをつけて③にかける。

季節の変わり目はカゼに注意

老廃物が体内に留まると免疫力が低下し、カゼの原因にもなります。イモ類や根菜など便秘を解消する食物繊維をしっかり取りましょう。また、血行促進作用のある生姜などと組み合わせることで、体を中から温め代謝をよくしてあげましょう。

問合先　坂井健康センター　☎50-3067

今月の表紙

秋、見～つけた

ユリノキの葉を透かして“秋”を楽しむ子供たち。「わぁ、まぶしい」と手をかざす横で、枯葉を手に「ボクは大丈夫」と、舌をペロリ。秋の昼下がりに笑い声がこだましていた。

（東十郷中央公園にて）

開催

そばの里丸岡 新そばまつり

とれたてのソバを使った「おろしそば」や「そばぜんざい」が堪能できます。新そばの魅力をぜひ味わってください。

と　き　11月23日（金・祝）　10:00～15:00

ところ　霞の郷　多目的ホール

おしながき

- そば１杯　350円
- そば３杯　1,000円
- そばぜんざい　150円

先着100人に「そばポン菓子」をプレゼント

問合先　丸岡そば振興協議会（丸岡総合支所産業課内）☎68-0806

よい食生活をするための 健康クッキングしませんか

生活習慣病予防食をテーマに、料理教室を開催します。

皆さん、ぜひご参加ください。

と　き　11月29日（木）
9:30～13:00

ところ　霞の郷・栄養指導室

持ち物　エプロン、三角巾、タオル

講　師　市栄養士

参加費　200円

申　込　事前予約が必要。11月22日（木）までに下記まで申し込み

申込先　丸岡保健センター
☎68-5051

講演会を開催 「子どもの意欲をたかめるために…」

―子どものやる気と生活リズム―

参加費は無料で、申し込み不要です。気軽にご来場ください。

と　き　11月27日（火）
15:30~17:00

ところ　霞の郷　多目的ホール

講　師　福井大学保健管理センター准教授
細田　憲一氏

主　催　市教育委員会、市不登校児童生徒支援会議、県不登校対策推進会議

問合先　フレッシュ学級
☎📠66-1233

11月の行政相談日　一部変更のお知らせ

三国社会福祉センター　12. 19日（月）→12. 26日（月）

問合先　秘書広報課 ☎50-3012

市誕生1周年記念植樹・「宝くじ松」配布事業植樹

海岸の松林は、森林病害虫による被害拡大で、その自然景観が損なわれつつあります。

そこで市では、松林を蘇生させるため、松林や花木などの広葉樹などの植栽を行います。事業は松林の機能回復・景観再生を図るため、継続的に実施。1回目となる今回は、市誕生1周年を記念して行います。

雄島小児童ら200人が、日本の原風景を再生させるための植樹を実施。皆さん、見学に来てください。

と　き　11月30日（金）
14:00～15:30

ところ　東尋坊タワー南側

内　容　クロマツ、広葉樹など240本を植樹

問合先　丸岡総合支所産業課
☎68-0806

「仕事と生活の調和のとれた働き方」セミナーを開催

ゆとり創造月間に合わせ、セミナーを開催します。皆さん、ぜひご参加ください。

と　き　11月19日（月）13:30～

ところ　県中小企業産業大学校
（福井市下六条町16-15）

問合先　福井労働局労働基準部監督課☎22-2652

年末調整説明会のお知らせ

三国税務署では、今年も年末調整説明会を開催します。気軽にご出席ください。

出席の際は、事前に送付した関係書類を必ずご持参ください。

【対象：三国町】

と　き　11月20日（火）
14:00～16:00

ところ　三国社会福祉センター

【対象：丸岡・春江・坂井町】

と　き　11月21日（水）
14:00～16:00

ところ　ハートピア春江

※対象地区の開催日が都合の悪い人は、都合のよい日時をご利用ください

<年末調整とは>

サラリーマンの給与に対する所得税は、毎月の給与やボーナスから源泉徴収されています。しかし、その源泉徴収された所得税の1年間の合計額は、1年間の給与総額に対して納めなければならない税額と次の理由などで、必ずしも一致しません。

①結婚や出産などで、年の中途で扶養親族の数が変わった場合

②生命保険料控除や配偶者特別控除などは、年末に一度に控除することになっているため

このため、その年最後の給与の支払いを受けるとき、過不足額の精算が行われます。これを年末調整といいます。

問合先　三国税務署（法人課税部門）☎81-6583

明るい選挙推進県民のつどい

民主政治の健全な発展のために、選挙が明るくきれいに行われる必要があります。

講演などを開催します。政治と選挙のあり方について学び、明るい選挙を実践していきましょう。

と　き　12月8日（土）13:30～

ところ　ユー・アイ・ふくい
（福井市下六条町14-1）

内　容

- 式典
- 政治と選挙のあり方についての講演会
講師　落語家
三遊亭　らん丈氏
- アトラクション（明るい選挙推進青年活動隊CEPTによる模擬投票）

問合先　県選挙管理委員会
☎20-0260

士業等団体友好協議会 無料相談会

弁護士会や公認会計士、税理士会など9士業等団体合同で無料相談会を行います。

と　き　11月14日（水）
13:00～19:00

ところ　アオッサ6階601号室
（JR福井駅東側）

内　容　法律、会計、税務、登記、年金、各種許認可、不動産などについて

問合先　県士業等団体友好協議会事務局（北陸税理士会福井県支部連絡協議会）☎52-0510

講演会を開催 「認知症は予防できるか？」

と　き　11月24日（土）
13:30～15:30

ところ　ユー・アイふくい
（福井市下六条町14-1）

講　師　筑波大学臨床医学系精神医学教授 朝田　隆氏

参加費　無料

定　員　600人

申　込　氏名、電話番号を明記し、はがきかFAX、電話で申し込み（電話の場合は平日9:00～17:00）

締　切　11月16日（金）

問合先　県立すこやかシルバー病院☎98-2700
📠98-2793
〒910-3623福井市島寺町93-6

福井調停協会主催 無料 調停相談

お金や土地・建物のトラブル、交通事故、夫婦間の問題や遺産の分割などといった家庭内のもめごとなど、お気軽に相談においでください。

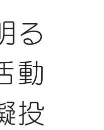
秘密は厳守。予約は必要ありません。電話での相談はできません。

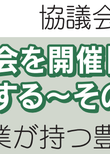
と　き　11月27日（火）
9:30～15:00

ところ　アオッサ6階601号室
（JR福井駅東側）

問合先　福井調停協会事務局
☎22-5000

研修会を開催【わが国農業の将来を展望する～その可能性と課題～】





農業が持つ豊かな可能性を起業化に結実させていく新しい農業の姿を提案します。どなたでも参加可。参加費無料で、申し込みは不要。

と　き　11月15日（木）19:00～

ところ　坂井北部丘陵地農業団地センター（あわら市二面1-10）

講　師　東京農工大学教授　矢口　芳生氏

問合先　坂井北部丘陵地営農対策会議☎78-6363

市のすがた（10月1日現在）

人口	95,295人	（－21、－36人）
男	46,184人	（＋10、＋22人）
女	49,111人	（－31、－58人）
世帯数	29,216戸	（－6、＋216戸）

※（　）内は前月比、前年比

募集

坂井が楽しくなる！ ～観光ビジョン戦略セミナー～ 参加者を募集

参加費無料

市では、従来の観光イメージにとらわれず、市民一人一人の声をこれからの観光ビジョンに反映させていくため、3回にわたって観光ビジョン戦略セミナーを開催します。

観光経営の実践家、担当者を招き、講演会やグループミーティングを通して市民と協働の観光事業のあり方や、ネットワークづくり、地域資源の活用などを学んでいきます。

参加対象者　坂井市民や観光業、企業関係者、商業・農林水産業従事者など、市観光戦略ビジョンの趣旨に賛同する人

申込先　商工観光課☎50-3152📠68-0440

第1回【モクモクの挑戦　地域のすべての資源を生かした事業に取り組んで】

とき　12月2日（日）13:30～16:30（受付12:30～）

ところ　みくに文化未来館

講師　農業組合法人　伊賀の里モクモク手づくりファーム　代表取締役専務　吉田　修氏

▲吉田さん

内容　年商38億円、年間50万人の来場者がある「伊賀の里モクモク手づくりファーム」を作り上げた実績と、地域おこしについて講演。地域活性化を考えます

第2回【顔が見える　川が見える　四万十方式ネットワークづくり】

とき　1月20日（日）13:30～16:30（受付12:30～）

ところ　ハートピア春江

講師　株式会社　四万十ドラマ　代表取締役社長　畦地　履正氏

▲畦地さん

内容　生産者の顔が見える商品づくりや、四万十川方式ネットワークづくりについて講演。生産者と消費者、田舎と都会をつなぐネットワークづくりについて考えます

第3回【坂井市の資源・ソフト開発、ネットワーク化について】

とき　2月24日（日）13:30～16:30（受付12:30～）

ところ　城のまち会館（丸岡）

内容　セミナーをつうじて…うららが創る！　坂井市観光ビジョン－

締切　第1回11月26日（月）、第2回　1月15日（火）、第3回　2月18日（月）

税務事務アルバイトを募集

市は、確定申告期の事務アルバイトを募集します。勤務内容は、課税資料の整理と確定申告会場での受付事務です。

人員　6人（簡単なパソコン操作のできる人）

勤務期間　平成20年1月10日（木）～3月31日（月）

勤務時間　平日8:30～17:30

賃金　5,600円/日（別途通勤費あり）

申込方法　12月28日（金）までに下記へ

申込・問合先　課税課☎50-3023

新「交通安全スローガン」大募集

平成20年度から3年間にわたり使用する新しい「交通安全スローガン」を募集します。

募集期間　11月30日（金）まで

※当日消印・送信有効

募集部門（4部門）
- 思いやりのある運転の徹底などを呼び掛ける「スロー」部門
- 早めの合図の励行などを呼び掛ける「シグナル」部門
- 反射材の着用の徹底などを呼び掛ける「シャイン」部門
- 飲酒したら絶対に運転しないことなどを呼び掛ける「飲酒運転根絶」部門

応募方法　郵送、FAX、持参またはメールで。市（💻http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/）また県ホームページからダウンロード可

応募・問合先　県県民安全課 ☎20-0296 📠20-0633 ✉kenan@pref.fukui.lg.jp 💻http://info.pref.fukui.jp/kenan/

平成20年新作
天神様ご予約会開催中
高柴家具
坂井市三国町南本町1-1-58
TEL 81-3092　営業時間/AM 9:00～PM 8:00

越前加賀みずといで湯の文化連邦主催
みずといで湯ぶらぶら散歩

隣のまちを散策しませんか。普段見ることができない場所を案内したり、地元のガイドが皆さんの気付かなかった魅力などを紹介したりします。ぜひご参加ください。

【あわら市コース】

地元ガイドの案内で、各旅館が持っている普段見ることのできないお宝を拝見します。また芸妓さんのあでやかな踊りの練習風景を見学します。

とき　11月15日（木）10:00～13:15

集合場所　あわら湯のまち駅

コース　芦原温泉芸妓協同組合～灰屋旅館～つるや旅館～べにや旅館～開花亭旅館～福乃家（昼食）～解散

定員　10人（先着順）

参加費　1,000円（昼食代など）

締切　11月13日（火）17:00

申込先　あわら市観光商工課 ☎73-8029

【加賀市コース】

北大路魯山人と九谷焼をつないだ山代温泉をガイド付きで散策。足湯にも入ります。昼食は、九谷焼の器ですし を楽しみます。

とき　11月30日（金）9:45～12:30ごろ

集合場所　山代温泉九谷広場

コース　山代温泉散策（須田菁華前、薬王院、服部神社など）～魯山人いろは草庵～白銀屋ギャラリー～昼食（自由解散）

定員　10人（先着順）

締切　11月28日（水）17:00

参加費　3,500円

持参物　タオル（足湯用）

申込先　KAGAまちネット ☎0761-72-6678

省エネコンテスト　参加者を募集中！

経済産業省では、地球温暖化対策の一環として、日常生活におけるちょっとした工夫による家庭での省エネ活動（アイデア）と、その効果のコンテストを行います。

ただ今参加者を募集中。参加希望者は下記まで。

問合先　（財）省エネルギーセンタースマートライフ推進本部「省エネコンテスト」事務局　☎03-5543-3013 ✉http://www.eccj.or.jp/contest08/

参加者を募集
普通救命講習会（受講料無料）

AED（自動対外式除細動器）の使用方法を含めた成人に対する心肺蘇生法と止血法が学べます。修了証交付あり。

とき　11月25日（日）9:00～12:00

ところ　嶺北消防署

対象　本市かあわら市に在住または通勤、通学する中学生以上の人

申込　FAXかメールで申請書を下記に提出。申請書はホームページから

詳細は最寄りの消防署か下記まで。

問合先　嶺北消防署 ☎51-0119📠51-2689 ✉reisho@reihoku-fd.jp 💻http://www.reihoku-fd.jp

防衛省自衛官を募集（2等陸・海・空士）

応募資格　平成20年3月1日現在で、18歳以上27歳未満の男子

試験日　11月23日（金・祝）

試験種目　筆記試験、口述試験、身体検査、適性検査

受付期間　11月22日（木）まで

採用日　平成20年3月下旬～4月上旬

申込・問合先　自衛隊福井募集案内所☎24-3702

アプトケア・三国　来春開設予定　入居者募集
国交省所管の高齢者専用賃貸住宅に厚労省所管の地域密着型施設等を併設する新しい形の複合施設
現在生活に困難、不便、不安がある要介護の施設入所待機者・独居高齢者・高齢者夫婦などが併設の居宅介護サービスを受けながら、個室で安心して「自宅」同様の生活が送れるように整備しました。
併設介護事業所：小規模多機能居宅介護・認知症対応型通通所介護・一般型通所介護・ユニット型短期入所介護・訪問介護など
場所：坂井市三国町三国東２丁目20（三国東なか公園隣り）
URL　http://aptcare.jp/
メール　info@aptcare.jp
職員・スタッフ 募集
ケアマネ・看護師・ＰＴ・ＯＴ・介護福祉士・ヘルパー等（認知症介護実践研修、修了者・有資格者等優遇）
■ご相談・お問い合わせ・資料請求：株式会社アプト開設準備室
坂井市三国町竹松14-3　TEL(0776)82-7240　FAX(0776)82-7242

文化財探訪

―一里塚（いちりづか）―

坂井町下関にある一里塚。

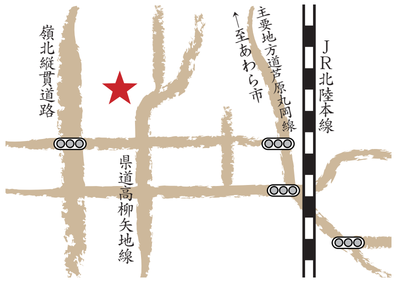
旧北国街道を往来する旅人への距離の目印として、1里（約4キロ）ごとに設置された交通施設。古代中国の様式を習い、1604年に将軍令として築かれた。かつてこの一里塚は「関の七曲り（ななまがり）の一里塚」とも呼ばれ、くねくねと曲がった細道がここから下関の集落まで続いていた。

現存する一里塚の一つを巡った。

「昔、一里塚は道を挟んで東側と西側に一つずつあった。昭和16年ごろに行われた耕地整理の際、西側が取り壊され、東側のものが残っている」と、地元に住む藤岡秀敏（ふじおかひでとし）さん（76歳・坂井町小路）が教えてくれた。

「その時、『関の七曲り』と呼ばれた道もまっすぐにしてね、道は残された一里塚の東側に通された」と説明してくれた。「かつては今の大きさの3倍もあり、塚の上には榎（えのき）が植えられていた」とも教えてくれた。

耕地整理や土地改良で辺りの様子が変わっても残されてきた一里塚を眺める藤岡さん。「今後、土地改良などが行われても、きっと残されるだろう」と話す目からは、史跡を地元の誇りに思う気持ちが伝わってきた。



編集室

▼大きなイベントが目白押しの10月。取材をしていると、すべてのイベントに、陰で支えるスタッフとして参加している人がいることに気付きました。本紙内では紹介できないので、この場で皆さんにそのことをお伝えします。（嘉）

▼テストを控えた娘が、参考書を枕に居眠り。思えば娘くらいの頃、私も同じでした。寝ながらでも頭に入るかも…自分の姿を重ねて思わず噴き出しながら、「積ん読」状態の本を慌てて手にした秋の夜。（純）

純な旅

『時雨心地』

（坂井町西）

とにかく　何でも
認めてもらえる人は得だ。
思うに任せない現実に
つい　くじけそうになる。
何とかしてよ、ドラえもん！
…だけど、本当の
“四次元ポケット”は
自分の心の中にあるんだよね。

広報さかい 11月号 Vol.20
平成19年11月8日
発行 坂井市　編集 秘書広報課
〒919-0592
福井県坂井市坂井町下新庄第1号1番地
TEL 0776-66-1500 FAX 0776-66-4837
URL http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/
E-mail kouhou@city.fukui-sakai.lg.jp